

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	公共	単位数	2単位	学年・学科・コース	2年・普通科・普通コース
使用教科書	新版 公共（数研出版）		副教材等	最新図説公共（浜島書店）	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	現代の諸課題について、様々な資料を基に理解を深め、事実を基に多面的・多角的に考察し、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論を重ねたりして、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての自覚を深めることを目指す。
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を持ち、現代社会に生きる人間としてのあり方生き方についての自覚や、自国を愛し、その平和と繁栄、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚している。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	第1章 公共的な空間をつくる私たち 第1節 青年期と自己形成 第2節 人間としての自覚 第3節 日本人としての自覚	青年期の課題や先哲の思想・生き方を知り、公共的な空間を作っていく主体としての自覚を得る。	○			青年期の課題や先哲の思想、宗教について理解する。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		自己形成の課題について考察できる。	
					○	先哲の思想や生き方、青年期の課題から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究しようとする。	
6	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第1節 西洋近代の思想 第2節 現代の諸課題と倫理	先哲の思想や生き方を学び、公共的な空間を作る主体としての自己を考察する。 現代の諸課題について考察する。	○			近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容を理解する。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できる。	
					○	選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得、現代の諸課題を主体的に追究しようとする。	
7 8	第3章 公共的な空間における基本原理 第1節 民主社会の基本原理 第2節 日本社会の基本原理	個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理を理解し、日本国憲法で保障されている権利を学びそのあり方について考察する。	○			法などの社会規範の役割や日本国憲法で保障されている権利が理解でき、日常生活と関連づけて考察できる。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		日本国憲法で保障されている権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ、その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察できる。	
					○	日本国憲法の基本原則に基づいた社会のあり方について、自分なりに構想できる。	
9	第4章 現代の民主政治と政治参加の意義 第1節 日本の政治機構 第2節 政治参加と民主政治の課題	国内の政治の仕組み、地方自治、選挙制度などについて理解し、よりよい民主政治のあり方について考察する。	○			選挙のしくみや政党の役割、地方自治の現状と課題を理解する。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		日本の政治について課題を発見し、解決する見通しを持つことができる。	
					○	模擬裁判や模擬投票などの取組を通して、政治に関心を持ち、社会に積極的に参画する自覚を持つことができる。	
10	第5章 現代の経済社会と経済活動のあり方 第1節 経済のしくみと市場機構 第2節 財政と金融	現代の企業の役割や経済活動の仕組み、政府が経済に果たす役割などを理解するとともに、国際経済の仕組みにも目を向け、課題を理解し考察する。	○			市場経済のメカニズムや財政・金融のはたらきを理解する。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できる。	
					○	日本経済の課題や、市場機構を修正している具体例を指摘でき自らの生活と結び付けて経済と接することができる。	

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
1 1 1 2	第3節 日本経済の発展と変化 第4節 豊かな生活と福祉の実現	日本経済の発展の過程と特徴、消費者問題や労働問題などの社会問題について理解し、その解決方法について考察する。	○			日本経済のあゆみやさまざまな社会問題について理解する。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		雇用・労働問題や社会保障・福祉について課題を発見し、解決の方法を考察できる。	
					○	経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられている。	
1	第6章 国際社会の動向と日本の役割 第1節 国際政治の動向 第2節 国際政治の課題と日本の役割	国際社会のしくみと戦後の国際情勢について理解し、これからの国際関係のあり方について考察する。 国際政治の課題について、理解し、その中で日本の果たすべき役割について考察する。	○			国際法の意義や国際連合の組織と役割を理解する。	定期考査 授業態度 課題 ノート・プリント
				○		国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明できる。	
					○	国際社会で平和と安全を維持するため何が有効なのか、自ら意見が持て他者と意見の交流ができる。	
2	第3節 国際経済の動向と国際協力	国際経済の仕組みや課題について理解し、その解決方法について考察する。	○			貿易や外国為替相場場について、そのしくみを理解する。	
				○		円高などの為替相場場の変動が経済にどのような影響を与えるのか考察できる。	
					○	国際社会の課題について主体的に追究できる。	
3	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	現代社会の諸課題について、探究するための資料を収集・選択し、討論や発表などを通して深く考察する。	○			現代社会の諸問題について、その問題の所在、現状、問題点などを理解する。	
				○		現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想することができる。	
					○	現代社会の特質から生じる価値の対立について、討論やディベートなどさまざまな方法を活用して主体的に探究できる。	